


TOTO

手洗器用自動水栓施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお取付けください。この説明書では、機器を安全に正しくお取付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

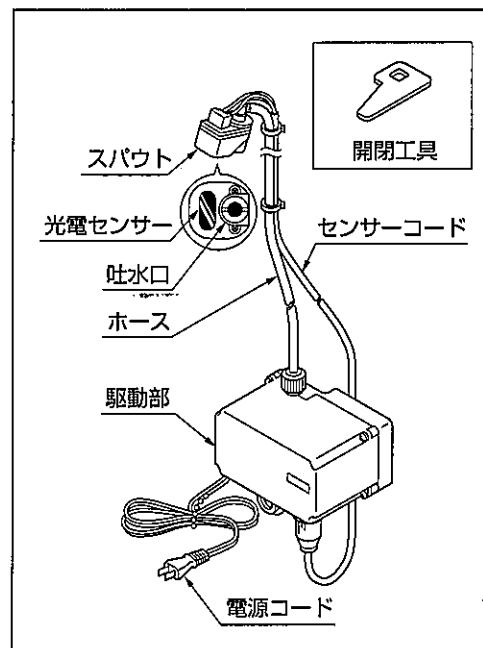
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

警告

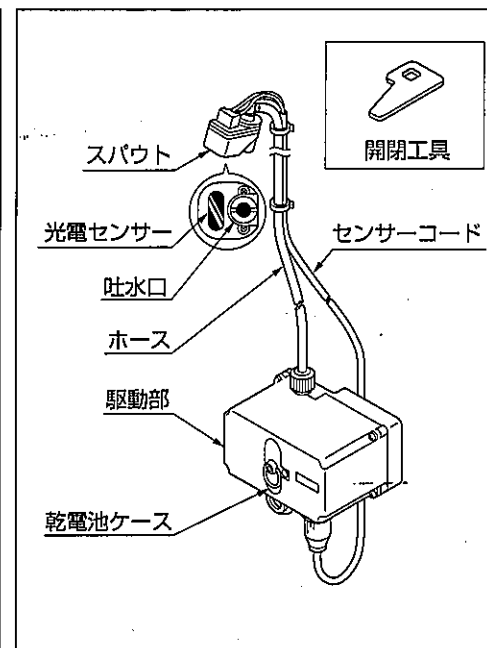
水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームでは設置、使用しないでください。(故障・感電の原因になります。)

仕 様

単水栓タイプ (AC100V)
TEL590B・TEL833B



単水栓タイプ (乾電池)
TEL590BD・TEL833BD



電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	常時2W (作動時5W)
電 源 コ ー ド	0.85m
給水 最低必要水圧 (流動時)	0.05Mpa
圧力 最高水圧	0.75Mpa
給 水 部 接 続	15A
周囲使用温度範囲	1℃~55℃
周囲使用湿度範囲	90%RH以下
感 知 距 離	自動設定 (学習機能内蔵)

電 源	DC6V (アルカリ乾電池単3×4本)
乾 電 池 寿 命	月4,000回の使用で約2年
給水 最低必要水圧 (流動時)	0.05Mpa
圧力 最高水圧	0.75Mpa
給 水 部 接 続	15A
周囲使用温度範囲	1℃~55℃
周囲使用湿度範囲	90%RH以下
感 知 距 離	自動設定 (学習機能内蔵)

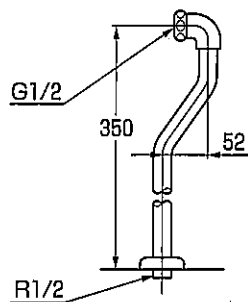
取付け前に

- 電気製品ですので駆動部に水をかけないようにご注意ください。また、浴室内では使用しないでください。
- 電源はAC100V (50/60Hz)、最高消費電力は5Wです。必ずこれに適した配線をしてください。また、コンセントは本体の取出し位置から0.8m以内の壁面に設けてください。
乾電池タイプは配線工事は不要です。(付属の電池をご使用ください。)
- 給水圧力範囲は、0.05~0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水は上水道に接続してください。中水道及び異物を多く含む水には使用できません。
- センサー面を傷つけない様十分ご注意ください。
- スパウトを陶器に固定した後、電源を入れてください。電源を入れてから約20秒間は、感知レベルを自動調整しますのでその間は、センサーに手をかざしたり陶器内に物を置かないでください。また陶器面は、かるくふくなどしておいてください。
- 陶器は、自動水栓専用陶器ですので、陶器品番末尾にAが付いていることを確認してください。

自動水栓	陶器品番
TEL590B	L590A
TEL590BD	
TEL833B	L833A
TEL833BD	

- 給水を床から行う場合は専用の給水金具T5B (別売) を使用してください。

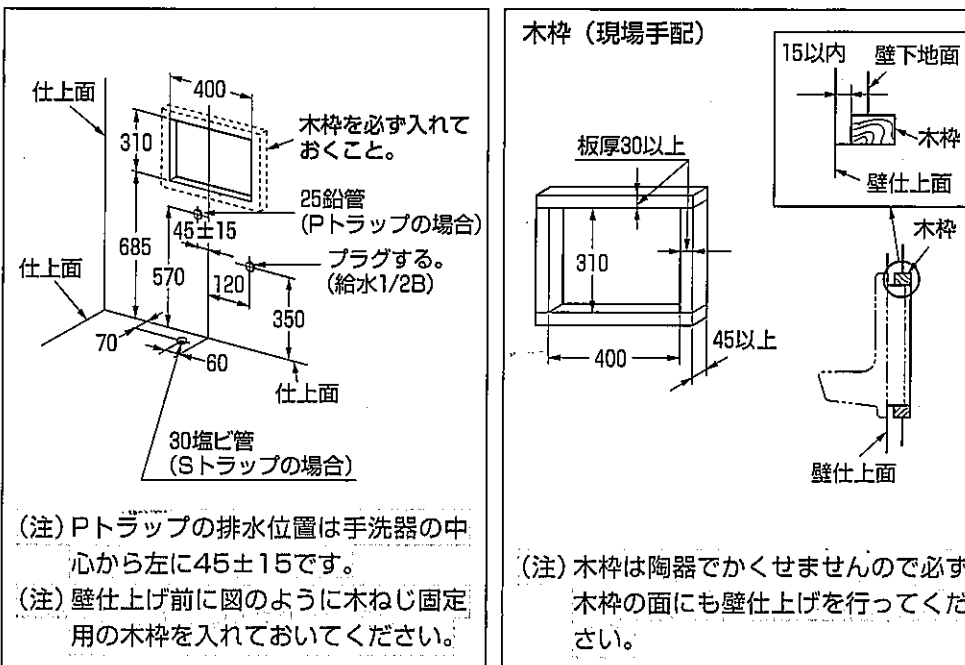
給水栓T5B (別売)



03302(A)

下準備

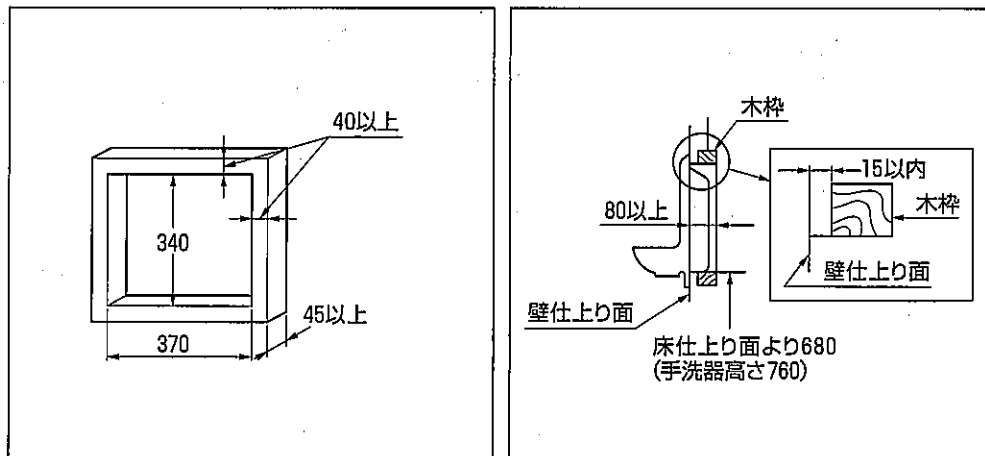
TEL590B・TEL590BD



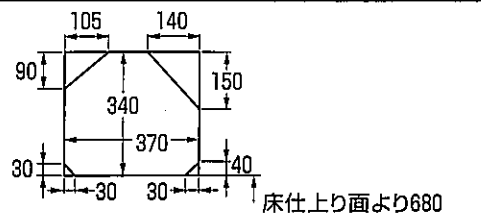
TEL833B・TEL833BD

(例) 乾式工法 (プasterボード等)

壁仕上げ前に、木ねじ固定用の木枠を壁心材 (桧木) に固定しておいてください。

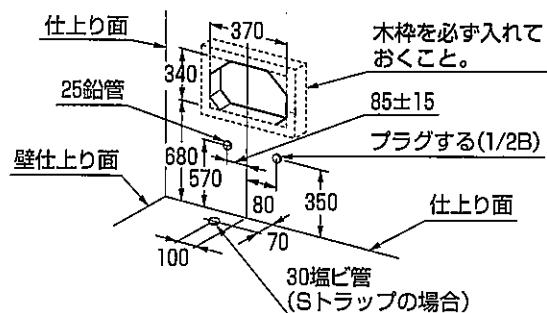


壁仕上げ後、木枠を埋込んだ位置を割り出し、下に示す寸法に壁を切り欠いてください。



原寸大の型紙を、各支社・支店・営業所で準備しています。ご利用ください。

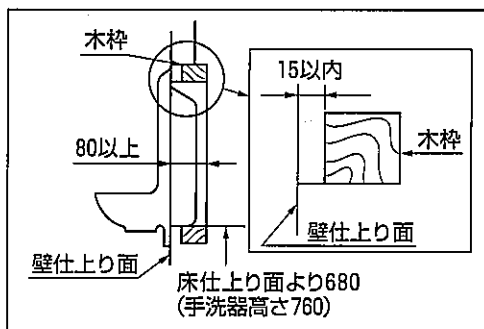
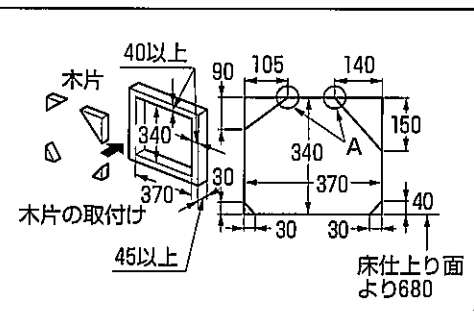
ブラスターボードの場合の給排水位置



(注) Pトラップの排水位置は手洗器の排水口芯から向かって左に45±15です。
(木枠の中心から85±15)

(例) 湿式工法 (ブロック壁等)

壁仕上げ前に埋込む木枠は、あらかじめ下図のように四隅に木片を取付けてください。壁仕上げを行うのに必要です。



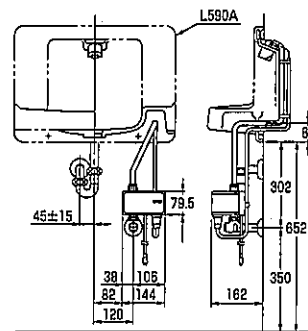
(注) 木枠及び木片は陶器でかくせませんので必ず木枠の面にも壁仕上げを行ってください。

(注) A部付近は、後で木ねじで手洗器を固定します。四隅の木片を釘で固定する場合はA部付近に釘がこないようご注意ください。

完成図

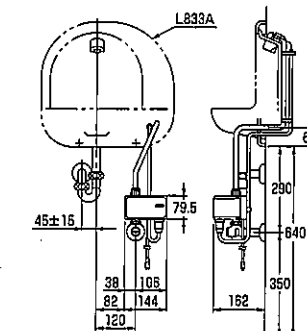
TEL590B

(AC100Vタイプ)の場合



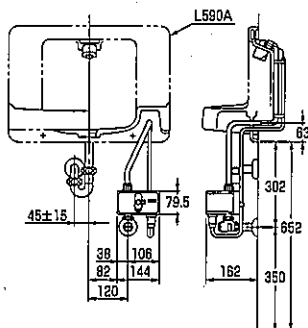
TEL833B

(AC100Vタイプ)の場合



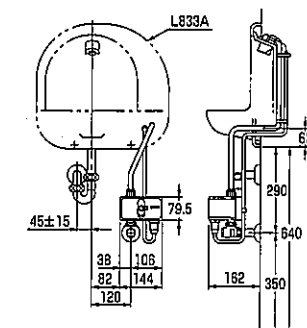
TEL590BD

(乾電池タイプ)の場合



TEL833BD

(乾電池タイプ)の場合



取付完了後の確認

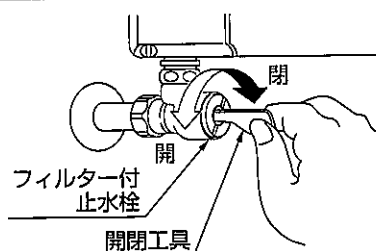
取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

1. 設置後、AC100Vタイプは電源プラグをコンセントへ差込み、乾電池タイプは乾電池をセットしてください。(この時止水栓は閉めておいてください。)
2. スパウト部のLED付センサーは陶器の色、設置条件により点滅する場合としない場合がありますが、故障ではありません。点滅した場合、そのまま設置します。(約10分後にLED点滅は消え、その後は正常に作動します。)
3. 止水栓を開いて給水してください。

4. スパウトの吐水口に手を近づけると水が出て、手を離すと約1~2秒遅れて水が止まることを確認してください。
5. 何らかの原因で約1分間連続して感知すると自動的に止水します。このような場合は、次のことを確認してください。
 - センサー面が汚れていないか。
 - スパウト部の取付位置が適切か。
 - 手洗器内に物が置かれていないか。

吐水量の調節

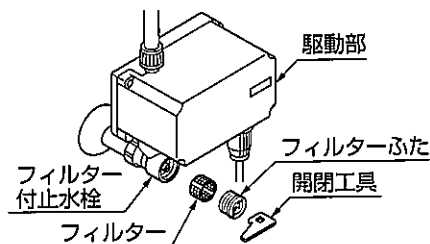
駆動部内部には、定流量弁 (5 ℓ / min) を内蔵しており基本的に調節は不要ですが、吐水を絞る必要のある場合は、付属の開閉工具でフィルター付止水栓を回して、吐水量を調整してください。



フィルターの掃除

フィルターが詰まると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずフィルターを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

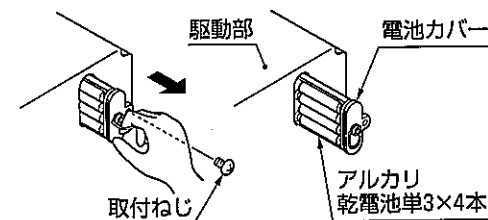
- フィルターを取外す時は、付属の開閉工具で止水栓を閉めた後、フィルターふたを外してください。



電池装着

〈乾電池タイプの場合のみ〉

1. 駆動部中央の取付ねじ1本をプラスドライバーで外し、電池カバーを抜き出し、乾電池 (アルカリ乾電池単3×4本) を装着します。(乾電池の取付方向に注意してください。)



2. 乾電池を電池カバーに取付け、駆動部へ差込み、取付ねじで取付けます。
 - (注) 電池カバーは確実にはめ込んでください。
 - (注) 電池を入れる際駆動部内に水が入らないよう注意してください。
 - (注) 最初は付属の乾電池をご使用ください。

電池交換

〈乾電池タイプの場合のみ〉

駆動部の乾電池が切れると、スパウト部センサー内のLEDが、数日間感知するたびに1秒間隔で点滅します。また、機能が停止していれば、まずは電池の交換を行っていただくよう、お客様にご指導ください。

1. 交換要領 (電池装着の項を参照ください。)
 - (1) 駆動部中央の電池カバー取付ねじを外します。
 - (2) 電池カバーを抜き出し乾電池を交換します。(乾電池の取付方向に注意してください。)
 - (注) この際、乾電池は、異種や新旧の電池を混合しないでください。 - (3) もとどおり電池カバーを差込み、ねじで取付けます。
2. 交換要領をお客様へ説明してください。なお交換要領の詳細は取扱説明書をご覧ください。

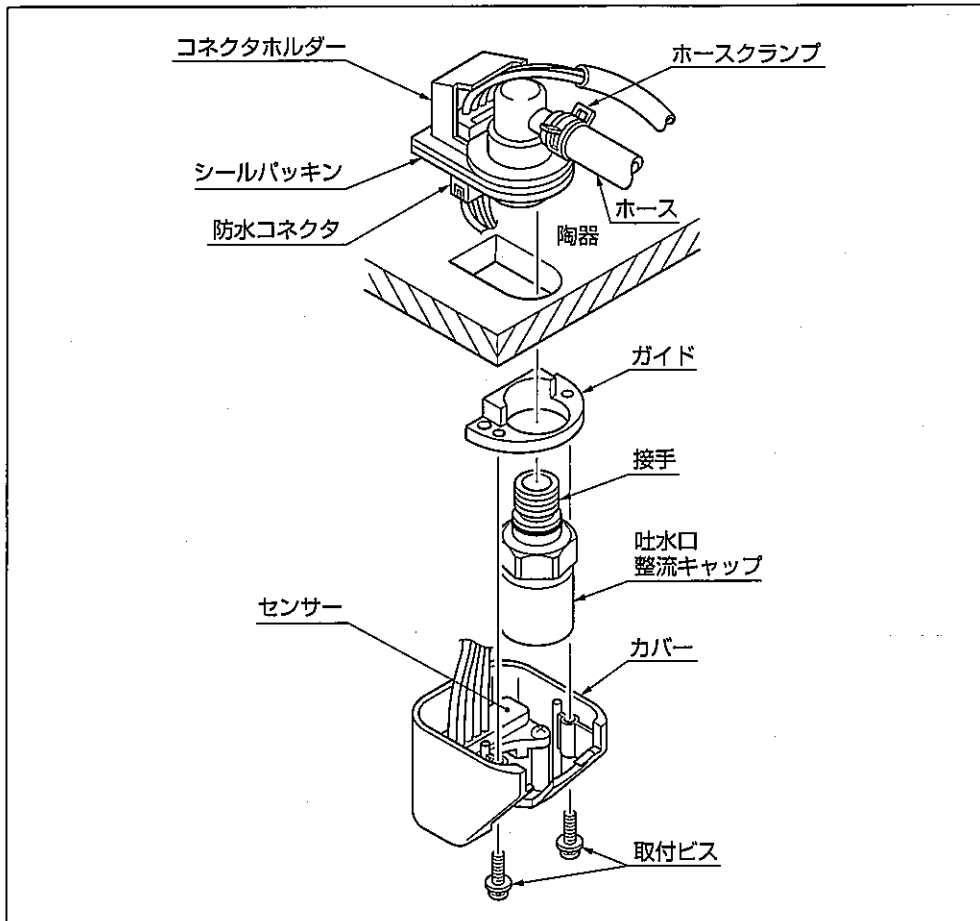
お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。なお、お手入れ方法は取扱説明書をご覧ください。

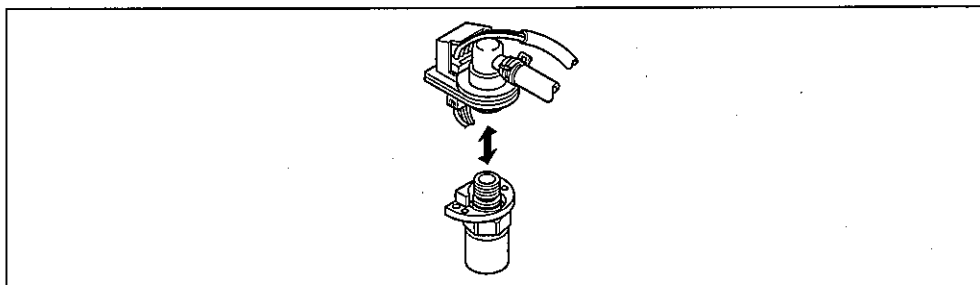
裏面へつづく

器具の取付け

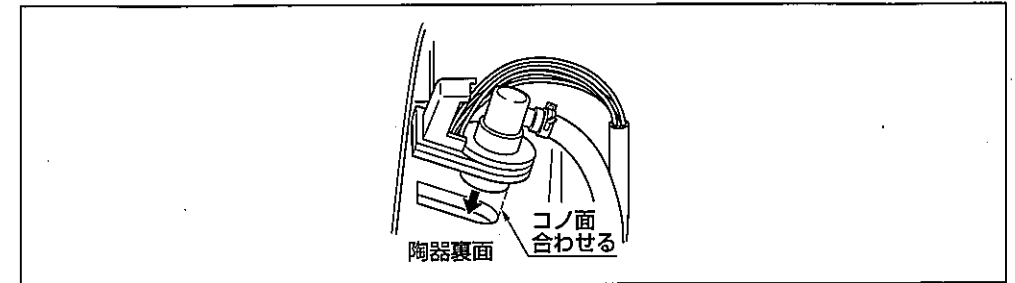
1. スパウト部取付け



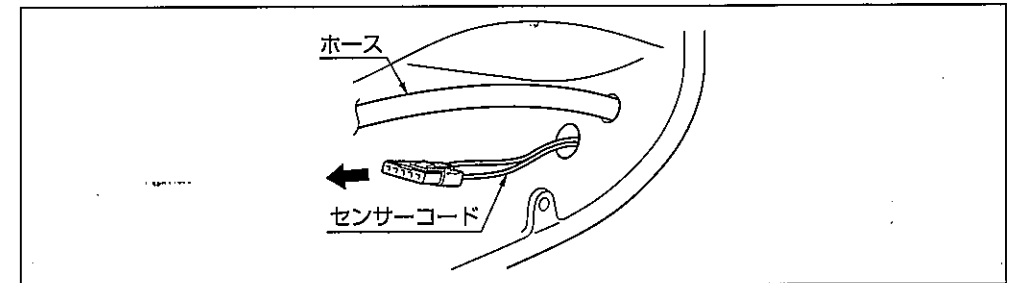
① ガイド及び接手を吐水接手より一度、取外してください。



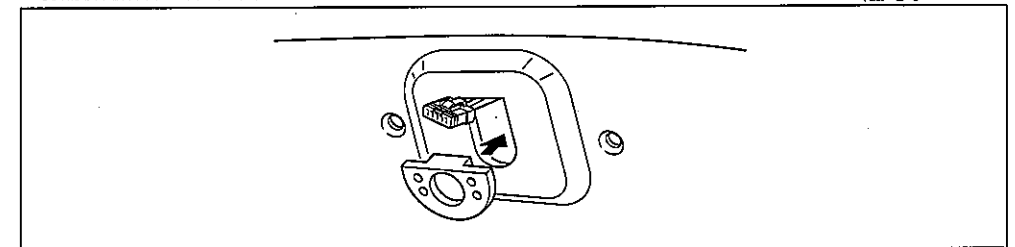
② コネクタホルダーのシールをはがし、陶器に固定してください。コネクタは、穴を通して、陶器表面へ出してください。



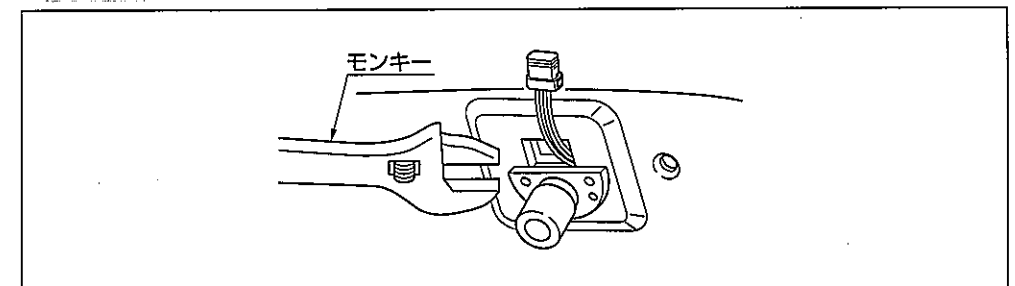
③ 陶器下部の大穴にコネクタを、小穴にはホースを陶器裏面から表面へ出してください。



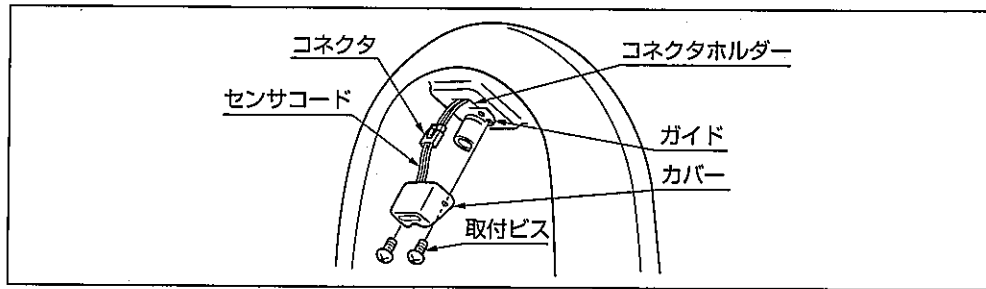
④ 陶器表面にガイドを図の向きにセットしてください。このときリード線のかみ込みに注意してください。



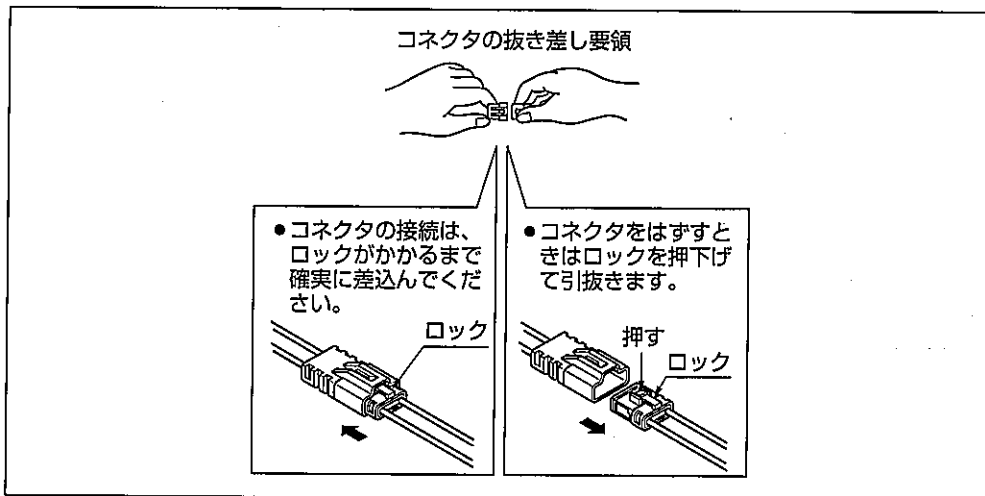
⑤ 接手をねじ込み、ガイドを固定してください。締付けは、リード線のかみ込みに注意しながらモンキー等で確実に行ってください。



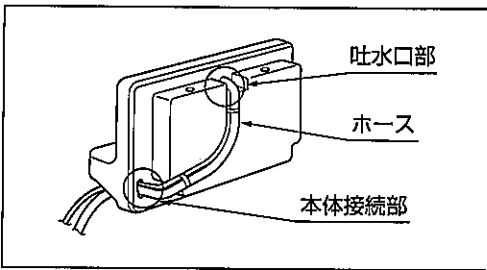
⑥コネクタを接続した後、コネクタホルダー内にコネクタを納めてください。次に、カバーの凸部をガイドの凹に合わせる要領でガイドにカバーをビス止めしてください。この際、センサーコードのかみ込みに注意してください。



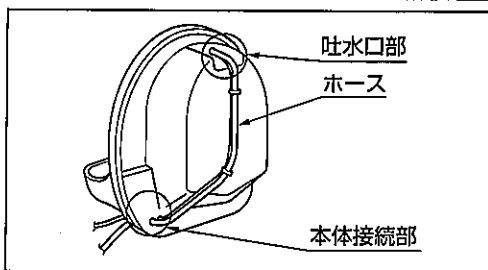
(注) コネクタの接続は、ロックが確実にかかるまで、差込んでください。また、抜き差し時に防水用Oリングを傷つけないでください。



TEL590B・TEL590BD



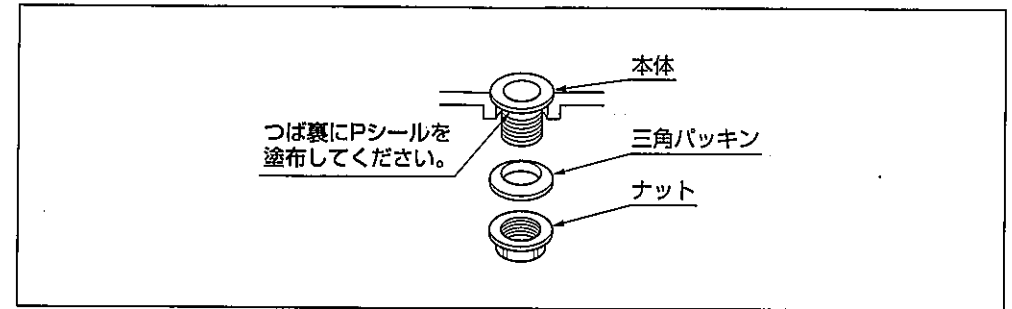
TEL833B・TEL833BD



(注) ホースは変形やねじれのないよう取扱いに注意してください。
(注) ホースの防露対策は必要に応じて現場にて行ってください。

2.排水金具の取付け

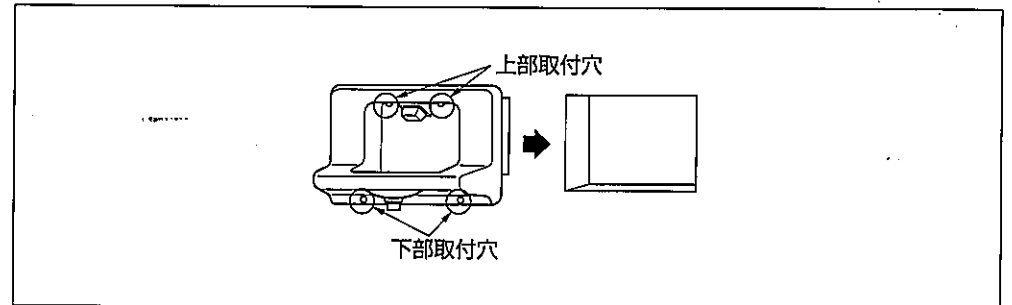
手洗器に排水金具の本体部を取付けてください。



3.手洗器の取付け

TEL590B・TEL590BD

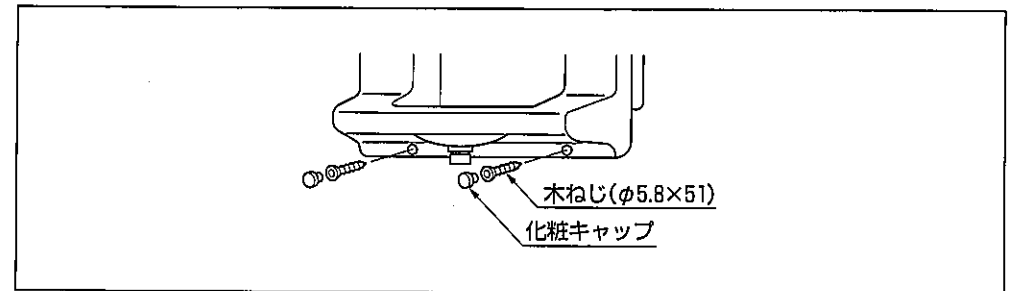
手洗器を仮置きして、取付穴の位置をけがき、下穴（4カ所）をあけてください。



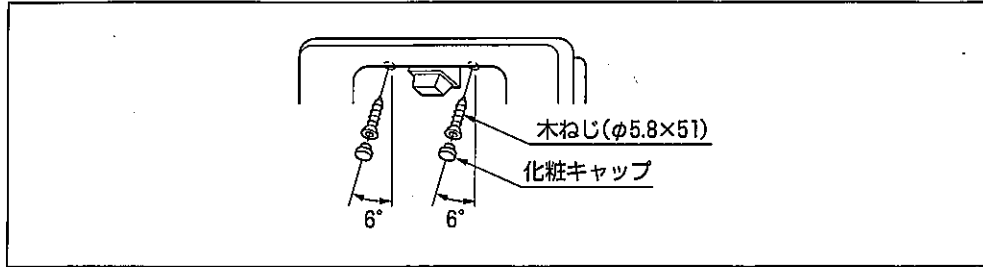
(注) 上部木ねじの下穴をあける際は陶器の傾き（約6°）に合わせて穴あけをしてください。

次の手順で木ねじを固定してください。

①下部木ねじの固定（TA3N×2コ使用）



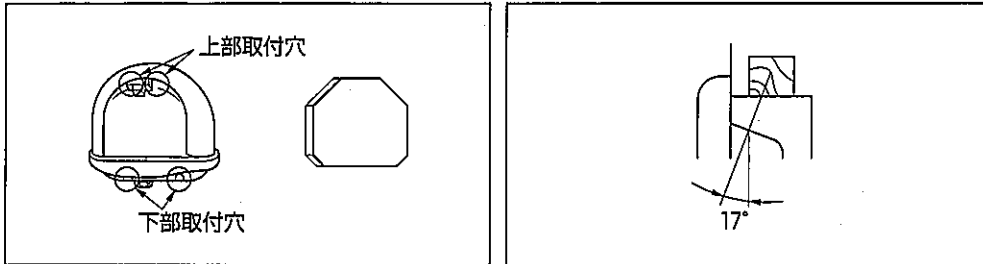
②上部木ねじの固定 (TA3N×2コ使用)



(注) 施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり接着剤での固定はしないでください。

TEL833B・TEL833BD

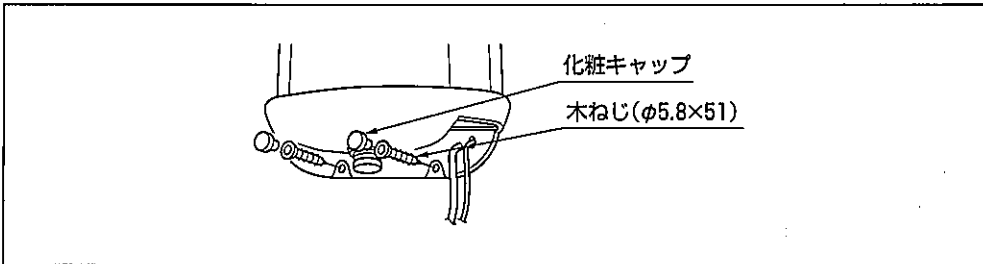
手洗器を仮置きして、取付穴の位置をけがき、下穴(4カ所)をあけてください。



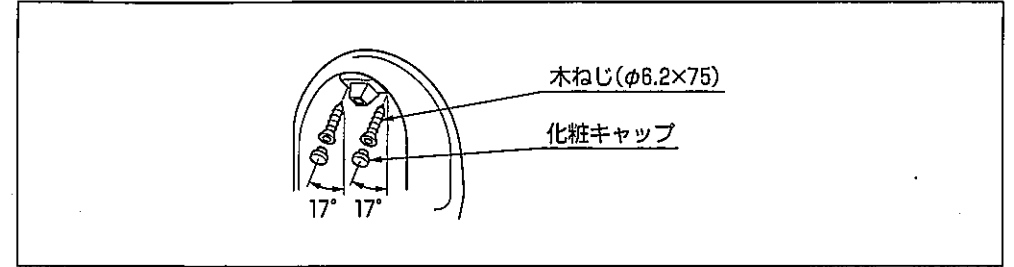
(注) 上部木ねじの下穴をあける際は陶器の傾き(約17°)に合わせて穴あけをしてください。

次の手順で木ねじを固定してください。

①下部木ねじの固定 (TA3N×2コ使用)



②上部木ねじの固定 (TL833D×2コ使用)



(注) 上部木ねじと下部木ねじは長さが違いますので間違わないようにしてください。

(注) 施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり接着剤での固定はしないでください。

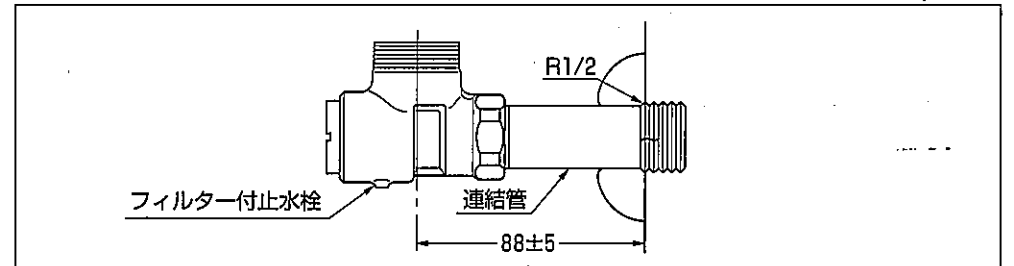
4.自動水栓の駆動部取付

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

①器具への給水の取出し位置を確認してください。

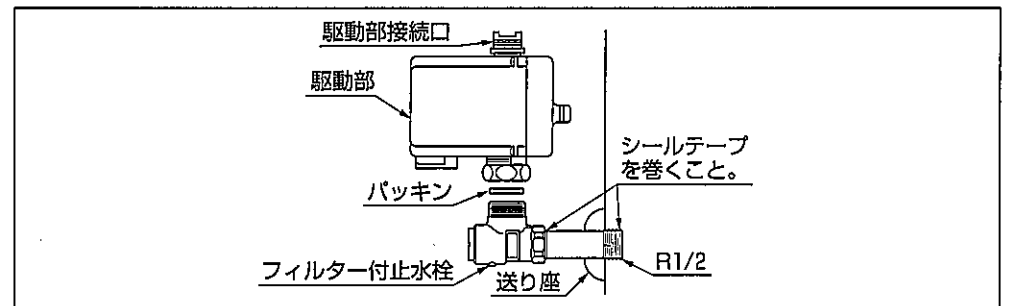
(注) 完成図の項を確認してください。

②自動水栓のフィルター付止水栓を取付けます。

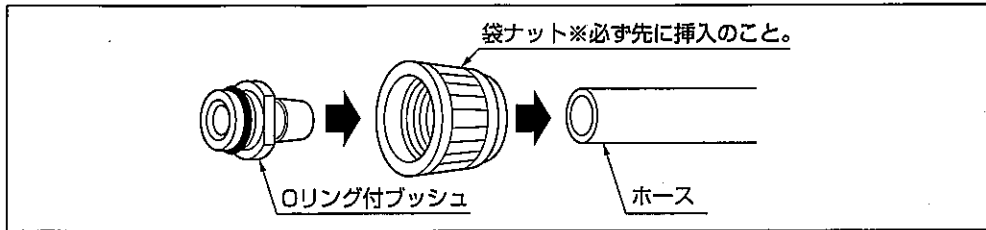


③駆動部の袋ナットにパッキンを取付け、駆動部を取付けてください。

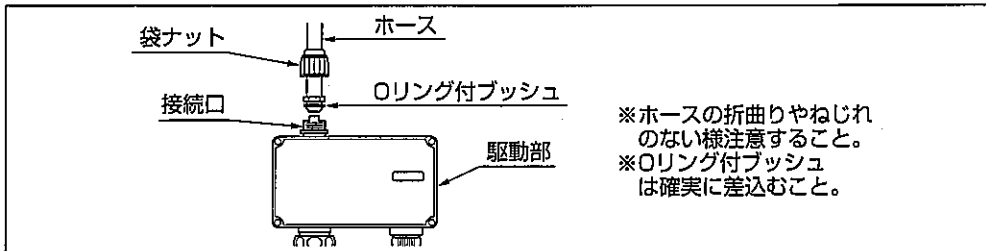
(注) パッキンを必ず取付けてください。



- ④ホースに端面から、袋ナットを通した後、Oリング付ブッシュを差込みます。
このとき、ホースはカッター等を用い、適当な長さに切断します。
切断面は、垂直かつ確実に行ってください。



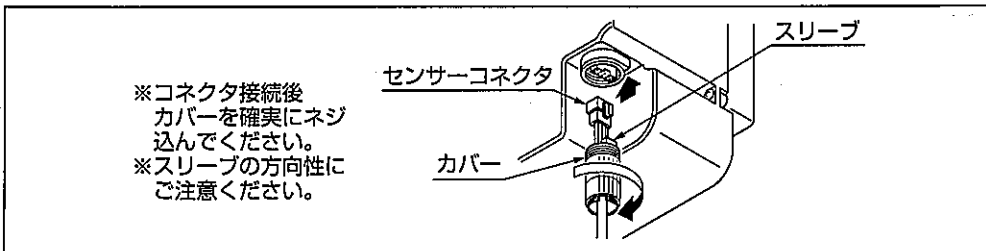
- ⑤Oリング付ブッシュを駆動部の接続口に差込んだ後、袋ナットを締付けます。Oリング付ブッシュが、確実に差込まれているか確認し、締付けは手締めにて行ってください。



- ⑥センサーコネクタを接続します。

コネクタの接続は、ロックがかかるまで確実に差込んでください。またカバーの締付けは、手締めにて確実に行ってください。

(注)スリーブがカバーの中に入っているか確認してください。



- ⑦ <AC100Vタイプの場合>

- 電源プラグをコンセントに差込みます。

<乾電池タイプの場合>

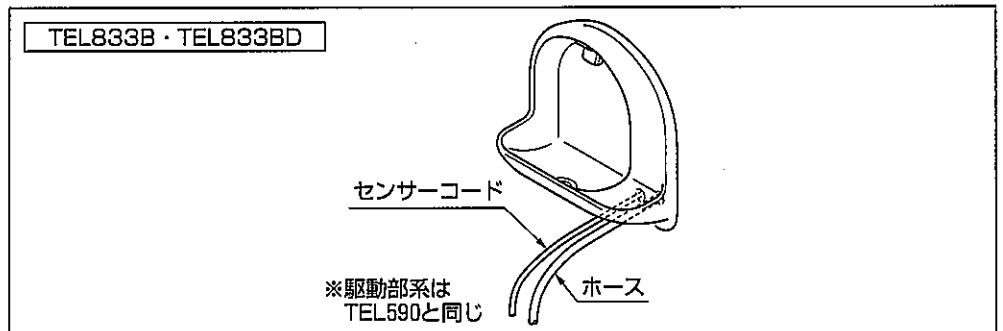
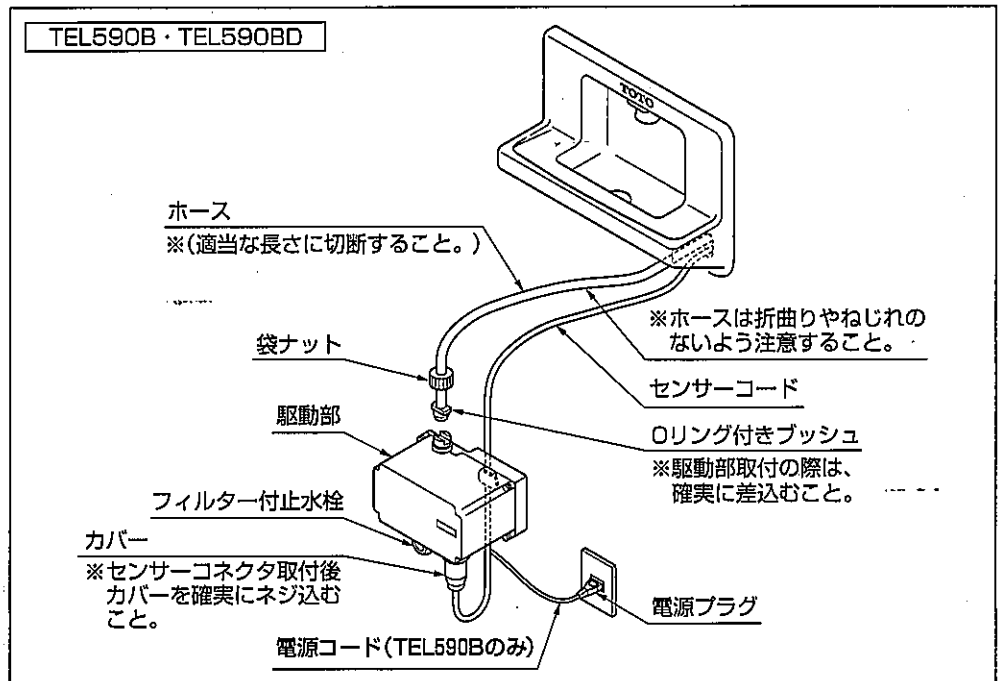
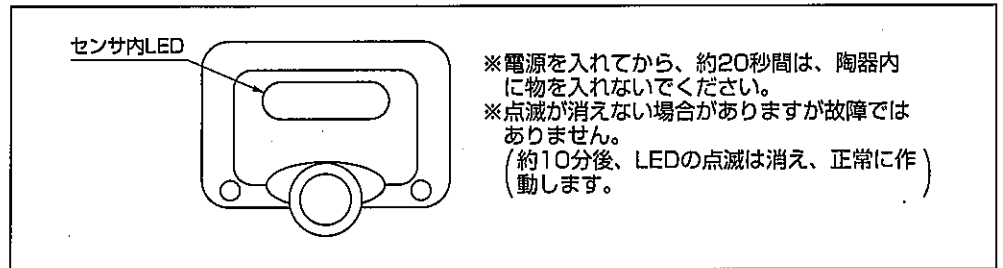
- 駆動部中央の電池カバーを抜き出し、付属の乾電池を装着します。(乾電池の取付方向にご注意ください。)

※電池装着の項を参照ください。

- 電池が入ると、直ちに感知距離を自動設定しますのでセンサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します。)

※器具の取付けが完了しましたら、取付完了後の確認の項を参照ください。

- 電池を入れてから約10分間は、感知すると点滅しますが、故障ではありません。(約10分後、LEDの点滅は消え、その後は正常に作動します。)



付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。